

令和6年8月吉日

新潟県臨床心理士会学校心理臨床部会(新潟SC部会) 主催研修会

令和6年度 学校心理臨床ワークショップのご案内

新潟県臨床心理士会 学校心理臨床部会長

渡邊容子

大暑の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて新潟SC部会では、一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの国重浩一先生をお迎えし、「声にならない声に耳を傾ける/話を聴くということ ～学校における『マイノリティ』支援から臨床家としてのアイデンティティを考える～」というテーマでワークショップを開催いたします。私たちが日々お会いするクライアントは、言えないこと、話したいけれど話せないことを抱えています。言葉にされることだけがすべてではなく、声にならない声があるかもしれないと想像してみると、それまでとは違う見方、違う応じ方の可能性も生まれるかもしれません。今回のワークショップでは、ナラティブ・セラピーがご専門の国重浩一先生とともに、「マイノリティ」の方への理解と支援について考えることを糸口にしなが、簡単には人に言いたくないことを胸の内に持つ児童生徒に、カウンセラーとしてどう接したいのか、どう接することができるのかを、講義とロールプレイ、ディスカッションを通して学び合います。皆様それぞれの今後の実践に役立つ機会となることを願っております。

本テーマに関心を持たれ、学ぶ機会を求めていらっしゃる方であれば、新潟県公認心理師会会員も、ご参加いただけます。新潟SC部会会員以外の皆様におかれましては、この研修会は本来部会内研修であり、部会員によって運営が行われること、及び部会員以外の参加は有料であることをご理解の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

【日時】 令和6年9月23日(月曜日・祝日) 10時～16時

【会場】 新潟ユニゾンプラザ 大会議室

【内容】 テーマ：声にならない声に耳を傾ける/話を聴くということ

～学校における『マイノリティ』支援から臨床家としてのアイデンティティを考える～

講師：国重浩一先生(一般社団法人ナラティブ実践協働研究センター)

10:00～12:00 講義・ディスカッション・質疑応答

13:00～15:30 ロールプレイ・グループワーク

15:30～16:00 全体ディスカッション、質疑応答、まとめ

【参加定員】会場 60 名 (先着順)

【参加費】 新潟 SC 部会会員;無料 新潟県公認心理師会会員;4,000 円

※ 新潟 SC 部会会員以外の方は、当日受付にて現金で参加費をお支払い下さい。

【申込方法】 Google フォームによる申し込み受付になります。

以下のリンクもしくは QR コードより、参加申し込みを行ってください。

令和 6 年度学校心理臨床ワークショップ申込フォーム

<https://forms.gle/nQzgSx8a2iF5U53s5>

申し込み締め切りは、9/16 月曜日 23:59 まで

(ただし、定員に達し次第終了させていただく場合がございます)



【その他】

※ 当日は昼食等のご準備はございません。各自でご持参ください。

※ 臨床心理士の資格更新のための研修ポイント [(4)群のワークショップ型研修会] を申請予定しております。

※ お問い合わせ等につきましては、下記の新潟 SC 部会事務局問い合わせフォームにご連絡ください。

新潟 SC 部会事務局お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/wX6micDzuHS83wAk7>



《WS 講師 国重浩一先生プロフィール》

一般社団法人ナラティブ実践協働研究センター所属

ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会会員。2013年に移民や難民に対する心理援助を提供するためのニュージーランドNPO法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターを発足。2023年9月から拠点をニュージーランドから滋賀県大津市に移す。

著書に、『ナラティブ・セラピーの会話術』『震災被災地で心理援助職に何ができるのか?』『ナラティブ・セラピーのダイアログ』『ナラティブ・セラピー・ワークショップ BOOK I & II』『もう一度カウンセリング入門』など。

訳書に、『ナラティブ・アプローチの理論から実践まで』『ナラティブ・メディエーション』『心理援助職のためのスーパービジョン』『ナラティブ・セラピー入門』『カップル・カウンセリング入門』『深刻な問題にこそプレイフル・アプローチを（仮題、近刊）』など。